

1 学校教育目標

考える子（知） 心豊かな子（徳） たくましい子（体）

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	・学力の向上に取り組む学校	・居心地のよい学校づくりに取り組む学校	・体力向上に取り組む学校
○児童・生徒像	・考える子	・心豊かな子	・たくましい子
○教師像	・授業改善を推進する教師	・児童の可能性を引き出す教師	・子供と共に汗を流す教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

[学校の現状]
 ○児童について 落ち着いた態度で学校生活を送ることができている。学力も年々向上してきている。
 ○教師について 若い教員や経験年数の浅い教員が多い。指導力向上を目指し研修を充実させていく必要がある。
 ○保護者・地域について 家庭や地域は学校に対し概ね協力的である。行事の際もボランティアで協力する保護者が増えてきた。

[前年度の成果と課題]
重点的な取組事項－1
 ・区学力調査において達成率は国語 86.9%、算数 84.2%と共に区の平均値はもちろん前年の数値を上回ったが、算数に関しては学校目標値の 85%以上を達成することができなかった。補習を充実させたり、AIドリルを活用したりして児童の苦手な部分を克服していく。
重点的な取組事項－2
 ・意識調査から「自己肯定感」の低い児童が見られる。道徳の授業を中心とした道徳教育をより一層充実させ、一人一人の良さを認め伸ばす指導を実践していく。
 ・「いじめ」の未然防止を図ると共に、万が一発生した際は早期解決のため、組織的に対応し、家庭や関係機関との連携を密にしながら解消に努める。
重点的な取組事項－3
 ・都の体力調査の結果から「投力」「反復横飛び」が課題であることがわかった。年間を通じた効果的な体力向上の取組を実践していく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R：令和				
		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成	○	○	○	○	○
3	健やかな体の育成	○	○	○	○	○

5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎学力の定着率向上と授業の質の向上を図る。		4月目標 両教科 90%以上 年度末目標 両教科 85%以上							
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業の充実	全学年 全教員	通年	【指導者体制】 全教員 【取組のねらい・目的】 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、算数科の授業から指導方法について研究する。 【使用教材】ICT機器 等	児童意識調査	区調査の「学校での授業がわかる」「学校の授業は楽しい」「自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる」の項目に肯定的に回答した児童90%以上。(4年生以上は45%以上)			
2 新規	GIGAスクール推進研究校 [授業改善]	全学年 全教員	通年	【指導者体制】 全教員 【取組のねらい・目的】 ICT機器を活用して、個別最適な学びと共同的な学びの一体的な充実と、学力の向上や資質・能力の育成を目指す。 【研究方法】 年4回の研究を通し、授業改善に努める。 授業公開を行い、研究成果を発表する。	単元テスト等 管理職による 授業観察	年間を通じ、全学年の単元テスト等の正答率平均80%以上。 管理職による授業の評価			

3 継続	AIドリル (Qubena)・ ICT機器の 活用 [授業改善]	全学年 全教員	通年 授業の 中で計 画的に 活用	【指導者体制】 全教員 【取組のねらい・目的】 ICT機器を活用し、わかる 授業・児童が主体的に学 ぶ授業を行う。 【使用教材】 ICT機器・AIドリル (Qubena)等	週案等で活用 状況を確認 AIドリル活用 状況調査で確 認 授業観察	1日1回以上 AI ドリル・ICT 機器 を活用した授業 を行う。 区の基準値を全 学級で上回る。			
4 継続	朝学習	全学年 国・算	毎週 火～金 曜実施 始業前 15分	【指導者体制】 担任 【取組のねらい・目的】 学習内容の復習・確認 【使用教材】 AIドリル(Qubena)・自作教 材 等	管理職による 授業観察	年間を通じ、全 学年の単元テス ト等の正答率平 均80%以上。			
5 継続	放課後補習	全学年 国・算 補習を必 要とする 児童	通年 放課後	【指導者体制】 全教員 【取組のねらい・目的】 基礎的・基本的な内容の定 着、現学習単元の補充 【使用教材】 既習内容のプリント・AIドリ ル(Qubena)等	単元テスト等 到達度確認テ スト	2月の確認テス トで国語・算数 共に正答率を1 0%以上アップさ せる。			

重点的な取組事項－2		豊かな心の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
児童の豊かな人間性を育成する。		目標実現に向けた取組の実施結果が 4項目とも「おおむね達成」以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度

道徳教育・特別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 意識調査の「自己肯定感(自分にはよいところがある)」の項目で80%以上の児童が肯定的回答 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業を中心とした全教育活動における質の高い道徳教育の実践。 年間35時間以上、道徳の授業の確実な実践。 行事への児童の主体的な関わりと、事前事後指導の実践。 			
いじめ防止 不登校への早期対応	<ul style="list-style-type: none"> 年度末でのいじめ解消率100%。 不登校数を前年度より減少させる。 意識調査の「学校は楽しい」の調査項目で90%以上の児童が肯定的回答 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育プログラムを用いた人権に関する研修の実施。 毎週金曜に生活指導夕会を実施し情報を共有。 全教員での生活指導全体会を実施し情報を共有。 関係機関との連携。 			
「みそあじ」の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 意識調査の「学校のきまりを守る」の項目で90%以上の児童が肯定的回答 	<p>全校統一して指導をする。</p> <p>み…みだしなみ そ…そうじ あ…あいさつ じ…時間を守る</p>			
読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 年間読書冊数、全校で4万冊以上 図書貸出冊数、全校で2万冊以上 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館支援員、副校長補佐、SSSによる、休み時間等の図書貸出の充実。 図書委員会による読み聞かせ等、児童主体による活動の充実。 			

重点的な取組事項－3				
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自らの健康と体力の向上を目指す児童を育成する。	目標実現に向けた取組の実施結果が、3項目とも「おおむね達成」以上			

B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力や運動能力の向上	・都の体力調査で「投力」「反復横跳び」の項目で都の平均値以上	・持久走旬間、短縄・長縄旬間等の体育的行事の年間を通じた取組。 ・体力を高めるための環境作り。 ・休み時間の外遊びの励行。			
体育の授業の質の向上	・意識調査の「体育が好き」の項目で90%以上の児童が肯定的回答 ・都の体力調査の数値向上(前年比)	・研修等を通じた体育科授業における指導方法の改善と、運動に親しめる環境や用具の工夫。			
保健指導・食育指導の充実	・意識調査の「食事」や「睡眠」等に関する項目で90%以上の児童が肯定的回答	・保健指導や食育指導の充実。 ・養護教諭や栄養士と連携した授業の実施。 ・保護者会や各種便りを活用した保護者への啓発。			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他(学校教育活動全般について)